

文部科学省

大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム  
「教員養成コンソーシアム四国」情報

平成23年 1月11日 (第35号)

# コンソーシアム

徳島文理大学  
「教員養成コンソーシアム四国」事務局

## 第2回フォーラムが開催されました

12月19日(日)に徳島文理大学徳島キャンパスのアカンサスホールで、連携3大学の学生を中心に、高校生、一般の方、幼小中高の現職教員、教育委員会、大学教職員、約300名が参加をして「教員養成コンソーシアム四国」第2回フォーラムが開催されました。

「教員養成コンソーシアム四国」推進委員会副委員長の高松大学 佃昌道学長の主催者挨拶に続いて事業報告が行われました。事業報告では、「教員養成コンソーシアム四国」の概要と運営部会の取り組みについて報告されました。

**教職課程部会**では、「**教職実践演習**」の授業開発と「**教職ポートフォリオ**」の作成と活用の取り組み、

**教育内容改善・充実部会**では、新学習指導要領に対応して**小学校外国語活動、伝統文化に関する教育、理数科教育の充実**の取り組み、

**地域連携部会**では、**高大連携と学生ボランティアの充実**の取り組みが報告されました。

**学生発表**では、四国学院大学1年の香西さくら子さんが「平賀源内先生こども科学教室に参加して」と題して、9回にわたり「平賀源内先生こども科学教室」に参加して子どもたちと関わった体験を発表しました。



学生発表

最後に、教育評論家で法政大学教授の尾木直樹先生より、「**これからの教員に求められるもの —直面する教育課題に向けて—**」というテーマで講演をいただきました。

世界の中で日本の教育がおかれている現状をわかりやすく説明をしながら、教員に求められるものとして、**①情勢認識力(洞察力) ②グローバルな視点 ③同僚性 ④子どもとの関係性(信頼)**の四つの点が重要であるということ、多くの事例を挙げて話されました。

尾木直樹先生からは多くの示唆をいただくとともに、参加した方々からは「教員養成コンソーシアム四国」の取り組みについて理解を得ることができました。

今回のフォーラムでは、**学生スタッフ**が発表や運営に参加することで内容が充実したものとなりました。今後も**学生スタッフの企画力、運営力を生かした取り組み**を推進していきたいと考えています。



主催者挨拶

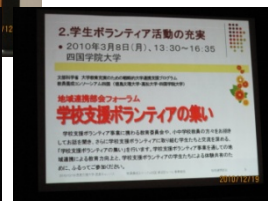


尾木直樹先生の講演



教職課程部会報告

教育内容改善・充実部会  
報告



地域連携部会報告